

飯舘村放射能エコロジー研究会 (IISORA) 福島シンポジウム 2013 年秋

原発災害と生物・人・地域社会への 影響と克復の途を探る

共同世話人 今中哲二、糸長浩司、小澤祥司

日 時：2013 年 11 月 17 日 (日) 10:00 ~ 17:30

場 所：福島県青少年会館大研修室 (収容人数 200 名程度)

参加者：一般市民、研究者

参加費：無料

3.11 以前の飯舘村



村の情景



牛の放牧



稲干し

3.11 以降



ベラルーシから小学校の先生とお医者さまを迎えての勉強会



対話による美術鑑賞の創始者アメリア・アナレスさんを迎えてのワークショップ



放射能公害による避難生活と復興に関する対策検討ワークショップ (RING!RING! プロジェクト助成)

主 催：飯舘村放射能エコロジー研究会

共 催：NPO 法人エコロジー・アーキスケープ

協力団体：飯舘村後方支援チーム、飯舘村写真展実行委員会、京都大学原子炉実験所原子力安全研究グループ、
(50 音順) 原子力資料情報室、原発事故被災者相双の会、国際環境 NGO FoE ジャパン、
世界自然保護基金 (WWF) ジャパン、市民エネルギー研究所、
東京大学大学院新領域創成科学研究科鬼頭研究室、日本大学生物資源科学部糸長研究室、
農村計画学会、BIOCITY、ふえみん、北海道大学スラブ研究センター家田研究室

お問い合わせ / IISORA 福島シンポジウム事務局 email : sympo@iitate-sora.net

「公益財団法人 J K A (RING!RING! プロジェクト・東日本大震災復興支援補助) による飯舘村支援活動」の予算を使用しています。

プログラム

<開会あいさつ> 10:00-10:10

<第1部> 放射能の生物影響と初期被曝評価

..... 座長: NPO 法人エコロジーアーキスケーブ 小澤祥司

10:00-12:30

- 稲への影響 / 飯館村での実験を通して 筑波大学 ランディープ・ラクワール
- 飯館村民らによる山菜・食品等の放射能汚染調査 いたてふあーむ 伊藤延由
- 家畜、野生動物への影響 東北大学 漆原佑介
- 飯館村民を対象とした初期被曝量評価の試み 京都大学 今中哲二
- 質疑応答

昼食休憩 12:30-13:30

<第2部前半> 生活・コミュニティ再建と複合まちづくり

..... 座長: 國學院大學 菅井益郎

13:30-16:00

- 「原子力市民委員会」中間報告 京都精華大学 細川弘明
- 飯館の住宅内の放射能汚染の実態 日本大学 糸長浩司
- 飯館村民の生活再建・復興への思い
..... 村民WSの中間発表 NPO 法人エコロジーアーキスケーブ 浦上健司
..... 村民からの報告 負けねど飯館! 渡辺富士男
- 二本松市での複合まちづくりの試み 早稲田大学 佐藤滋

休憩 16:00-16:20

<第2部後半> 総合討論

16:20-17:30

- 生活・コミュニティ再建と複合まちづくりの総合討論 モデレーター: 糸長浩司
登壇者: ランディープ、伊藤、漆原、今中、細川、浦上、渡辺、菅野栄子、佐藤、小澤

○ 福島県青少年会館

〒960-8153 福島県福島市黒岩字田部屋 53 番 5 号

